

通貨選択型アメリカン・ エクイティ・ α クワトロ (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第60期(決算日 2020年7月17日)
第61期(決算日 2020年8月17日)
第62期(決算日 2020年9月17日)
第63期(決算日 2020年10月19日)
第64期(決算日 2020年11月17日)
第65期(決算日 2020年12月17日)

(作成対象期間 2020年6月18日～2020年12月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約10年間（2015年6月26日～2025年6月17日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主 要 投 資 対 象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託 「クレディ・スイス・ユニバー サル・トラスト（ケイマン）Ⅲ ーダイワ・アメリカン・ハイ・ ディビデンド・エクイティ・ク ワトロ・インカム・ファンド」 の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーポートフォリ オ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネー ポートフォリオ・ マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの 投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼
申し上げます。

当ファンドは、米国の高配当株式に投資
するとともに、為替取引ならびに株式およ
び通貨のカバードコール戦略を組み合わせ
ることで、高水準のインカム性収益の確保
と信託財産の成長をめざしております。当
作成期につきましてもそれに沿った運用を
行ないました。ここに、運用状況をご報告
申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分	み 騰 落	中 率			
	円	円		%	%	%	百万円
36期末（2018年7月17日）	5,339	120		1.1	—	98.4	1,836
37期末（2018年8月17日）	5,243	120		0.4	—	98.6	1,736
38期末（2018年9月18日）	4,937	120	△	3.5	—	97.9	1,600
39期末（2018年10月17日）	5,115	80		5.2	—	97.1	1,669
40期末（2018年11月19日）	5,081	80		0.9	—	99.2	1,604
41期末（2018年12月17日）	4,752	80	△	4.9	—	98.4	1,423
42期末（2019年1月17日）	4,633	80	△	0.8	—	98.7	1,346
43期末（2019年2月18日）	4,789	80		5.1	—	98.4	1,385
44期末（2019年3月18日）	4,715	80		0.1	—	98.0	1,323
45期末（2019年4月17日）	4,695	80		1.3	—	98.6	1,292
46期末（2019年5月17日）	4,367	80	△	5.3	—	97.9	1,213
47期末（2019年6月17日）	4,384	80		2.2	—	98.4	1,222
48期末（2019年7月17日）	4,474	80		3.9	—	98.5	1,239
49期末（2019年8月19日）	3,917	80	△	10.7	—	98.1	1,086
50期末（2019年9月17日）	4,006	80		4.3	—	98.4	1,113
51期末（2019年10月17日）	3,861	80	△	1.6	—	99.0	1,057
52期末（2019年11月18日）	3,864	80		2.1	—	97.8	1,071
53期末（2019年12月17日）	3,934	80		3.9	—	98.3	1,085
54期末（2020年1月17日）	3,870	80		0.4	—	97.7	979
55期末（2020年2月17日）	3,672	80	△	3.0	—	98.0	923
56期末（2020年3月17日）	1,909	80	△	45.8	—	99.2	473
57期末（2020年4月17日）	1,953	80		6.5	—	96.6	511
58期末（2020年5月18日）	1,728	40	△	9.5	—	97.2	474
59期末（2020年6月17日）	1,973	40		16.5	—	99.1	541
60期末（2020年7月17日）	1,897	40	△	1.8	—	97.5	522
61期末（2020年8月17日）	1,913	40		3.0	—	98.6	531
62期末（2020年9月17日）	1,905	40		1.7	—	98.9	529
63期末（2020年10月19日）	1,796	40	△	3.6	—	98.3	502
64期末（2020年11月17日）	1,910	40		8.6	—	98.8	528
65期末（2020年12月17日）	1,977	40		5.6	—	98.4	543

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

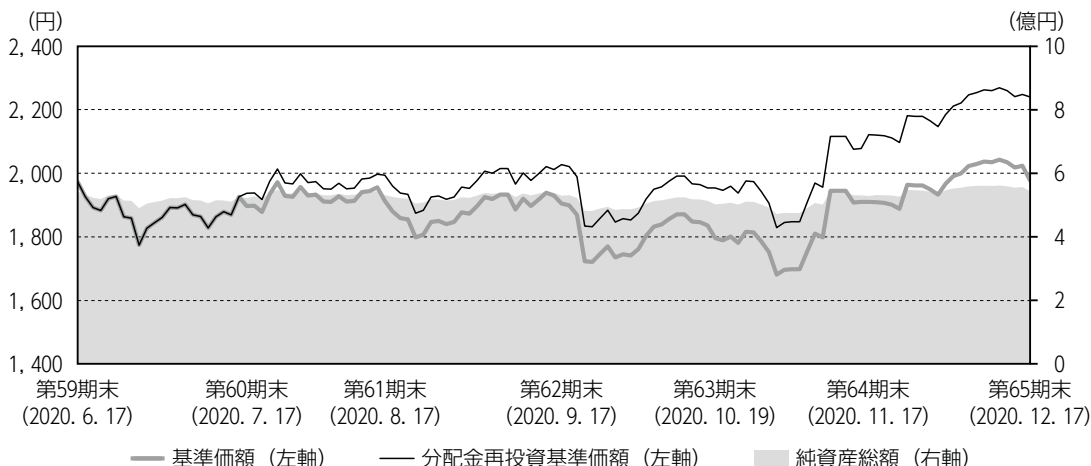
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第60期首：1,973円

第65期末：1,977円（既払分配金240円）

騰落率：13.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドの上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドについては、米国の株式に投資し、米ドル売り

／ブラジル・リアル買いの為替取引を行うとともに、株式ならびに通貨（円に対するブラジル・リアル）のカバードコール戦略を構築した結果、リアルが対円で下落（円高）したことはマイナス要因となりましたが、株式が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引については、通貨のオプションはプラスに寄与しました。株式のオプションの影響は軽微でした。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第60期	(期 首) 2020年 6 月17日	円 1,973	% —	% —	% 99.1
	6 月末	1,827	△ 7.4	—	98.4
	(期 末) 2020年 7 月17日	1,937	△ 1.8	—	97.5
第61期	(期 首) 2020年 7 月17日	1,897	—	—	97.5
	7 月末	1,930	1.7	—	98.6
	(期 末) 2020年 8 月17日	1,953	3.0	—	98.6
第62期	(期 首) 2020年 8 月17日	1,913	—	—	98.6
	8 月末	1,877	△ 1.9	—	98.9
	(期 末) 2020年 9 月17日	1,945	1.7	—	98.9
第63期	(期 首) 2020年 9 月17日	1,905	—	—	98.9
	9 月末	1,735	△ 8.9	—	98.3
	(期 末) 2020年10月19日	1,836	△ 3.6	—	98.3
第64期	(期 首) 2020年10月19日	1,796	—	—	98.3
	10月末	1,696	△ 5.6	—	98.6
	(期 末) 2020年11月17日	1,950	8.6	—	98.8
第65期	(期 首) 2020年11月17日	1,910	—	—	98.8
	11月末	1,949	2.0	—	98.4
	(期 末) 2020年12月17日	2,017	5.6	—	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 6. 18 ～ 2020. 12. 17）

■米国株式市況

i シェアーズ好配当株式 E T F（配当再投資）は米ドルベースで上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年10月にかけては、新型コロナウイルスの治療薬やワクチン開発において進展が確認されたことなどがプラス要因となった一方で、米国大統領および連邦議会選挙を控え投資家が慎重姿勢を強めたことや、審議が難航した追加経済対策に対する不透明感などが重しとなり、方向感のない展開となりました。11月に入ると、選挙をめぐる不透明感が後退したことや、ワクチン開発で高い有効性を示す結果が相次ぎ、実用化への期待が高まったことなどを受けて投資家のリスク選好姿勢が強まり、上昇基調となりました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当作成期首から2020年10月にかけては、ブラジル国内や主要各国において経済指標の改善が見られたことで投資家のリスクに対する心理が改善したことはレアルの上昇要因となりましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大や、ブラジル中央銀行が政策金利を過去最低の2%に引き下げたこと、またブラジル国内政治に対する不透明感の高まりなどがマイナス要因となり、下落しました。11月以降は、新型コロナウイルスのワクチン開発に関する報道や、米国大統領選挙を無事終了したことなどから投資家のリスク選好姿勢が高まり、上昇に転じました。

■短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを0.00～0.25%で据え置きました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を合計1.00ポイント引き下げ、2.00%としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト

（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50％程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2020. 6. 18 ～ 2020. 12. 17）

■当ファンド

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式に投資を行いました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。投資対象とするETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	2020年6月18日 ～2020年7月17日	2020年7月18日 ～2020年8月17日	2020年8月18日 ～2020年9月17日	2020年9月18日 ～2020年10月19日	2020年10月20日 ～2020年11月17日	2020年11月18日 ～2020年12月17日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	2.07	2.05	2.06	2.18	2.05	1.98
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,334	4,341	4,346	4,352	4,355	4,366

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 43.88円	✓ 47.01円	✓ 44.95円	✓ 45.67円	✓ 42.63円	✓ 50.80円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	4,326.53	4,326.90	4,327.68	4,328.33	4,328.74	4,329.66
(d) 分配準備積立金	3.98	7.70	14.32	18.91	24.26	26.32
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,374.40	4,381.63	4,386.97	4,392.92	4,395.64	4,406.79
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4,334.40	4,341.63	4,346.97	4,352.92	4,355.64	4,366.79

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第60期～第65期 (2020. 6. 18～2020. 12. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	12円	0. 616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1, 880円です。
（投 信 会 社）	(4)	(0. 219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(7)	(0. 385)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 050	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(1)	(0. 050)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	13	0. 669	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

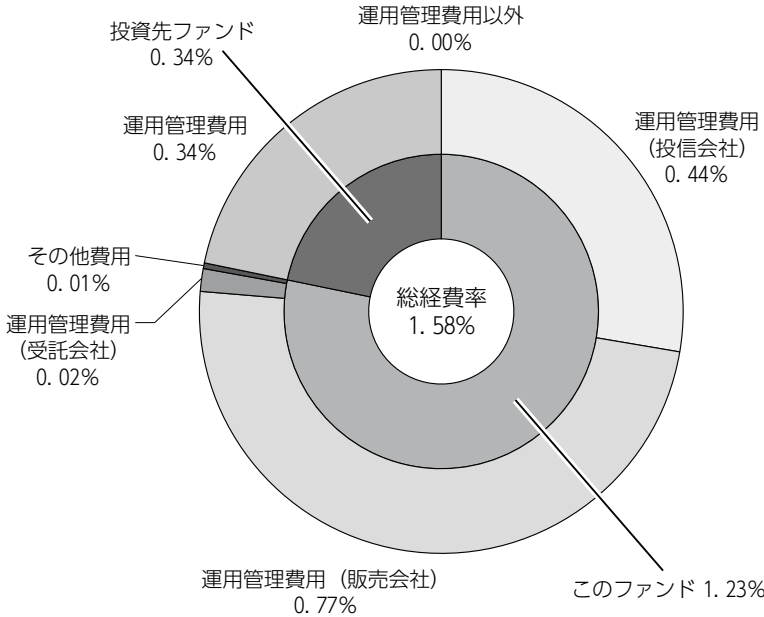
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.58%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注 1）①の費用は、1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注 2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注 3）各比率は、年率換算した値です。
（注 4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注 5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注 6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注 7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2020年6月18日から2020年12月17日まで)

決 算 期	第 60 期 ～ 第 65 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	9,707.64651	96,585	8,828.58915	89,730

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2020年6月18日から2020年12月17日まで)

第 60 期 ～ 第 65 期							
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	1,690.0322	17,000	10	DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	8,828.58915	89,730	10

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 65 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND	50,411.67008	534,666	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 59 期 末	第 65 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月17日現在

項 目	第 65 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	534,666	96.2
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	20,960	3.8
投資信託財産総額	555,786	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月17日)、(2020年8月17日)、(2020年9月17日)、(2020年10月19日)、(2020年11月17日)、(2020年12月17日) 現在

項 目	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末
(A) 資産	536,245,313円	544,790,918円	545,107,339円	515,796,472円	543,574,498円	555,786,572円
コール・ローン等	26,820,147	20,288,316	21,111,251	21,420,962	21,034,291	20,960,878
投資信託受益証券（評価額）	509,265,612	524,343,048	523,836,550	494,215,972	522,380,669	534,666,172
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	159,554	159,554	159,538	159,538	159,538	159,522
(B) 負債	13,854,779	13,000,314	15,459,993	13,262,752	14,990,024	12,386,046
未払収益分配金	11,013,716	11,119,730	11,120,966	11,190,417	11,070,809	10,995,753
未払解約金	2,311,232	1,311,207	3,775,830	1,506,560	3,405,109	812,467
未払信託報酬	526,331	562,142	552,254	551,217	496,253	556,282
その他未払費用	3,500	7,235	10,943	14,558	17,853	21,544
(C) 純資産総額（A－B）	522,390,534	531,790,604	529,647,346	502,533,720	528,584,474	543,400,526
元本	2,753,429,161	2,779,932,582	2,780,241,552	2,797,604,352	2,767,702,481	2,748,938,300
次期繰越損益金	△ 2,231,038,627	△ 2,248,141,978	△ 2,250,594,206	△ 2,295,070,632	△ 2,239,118,007	△ 2,205,537,774
(D) 受益権総口数	2,753,429,161口	2,779,932,582口	2,780,241,552口	2,797,604,352口	2,767,702,481口	2,748,938,300口
1万口当り基準価額（C／D）	1,897円	1,913円	1,905円	1,796円	1,910円	1,977円

* 第59期末における元本額は2,745,433,411円、当作成期間（第60期～第65期）中における追加設定元本額は368,728,457円、同解約元本額は365,223,568円です。

* 第65期末の計算口数当りの純資産額は1,977円です。

* 第65期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,205,537,774円です。

■損益の状況

第60期 自2020年6月18日 至2020年7月17日 第62期 自2020年8月18日 至2020年9月17日 第64期 自2020年10月20日 至2020年11月17日
第61期 自2020年7月18日 至2020年8月17日 第63期 自2020年9月18日 至2020年10月19日 第65期 自2020年11月18日 至2020年12月17日

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(A) 配当等収益	12,613,505円	13,551,070円	13,055,508円	13,333,531円	11,938,027円	14,235,128円
受取配当金	12,613,928	13,551,446	13,056,081	13,333,959	11,938,213	14,235,395
受取利息	39	26	13	10	1	18
支払利息	△ 462	△ 402	△ 586	△ 438	△ 187	△ 285
(B) 有価証券売買損益	△ 21,517,086	2,403,478	△ 3,353,694	△ 31,616,969	31,055,205	15,471,482
売買益	934,966	2,512,473	366,382	416,800	31,200,369	15,782,998
売買損	△ 22,452,052	△ 108,995	△ 3,720,076	△ 32,033,769	△ 145,164	△ 311,516
(C) 信託報酬等	△ 529,831	△ 565,877	△ 555,962	△ 554,877	△ 499,548	△ 559,973
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 9,433,412	15,388,671	9,145,852	△ 18,838,315	42,493,684	29,146,637
(E) 前期繰越損益金	△ 1,006,095,668	△ 1,015,146,670	△ 983,751,958	△ 972,941,209	△ 978,990,099	△ 921,041,126
(F) 追加信託差損益金	△ 1,204,495,831	△ 1,237,264,249	△ 1,264,867,134	△ 1,292,100,691	△ 1,291,550,783	△ 1,302,647,532
（配当等相当額）	(1,191,281,083)	(1,202,850,446)	(1,203,201,288)	(1,210,895,747)	(1,198,067,217)	(1,190,197,865)
（売買損益相当額）	(△ 2,395,776,914)	(△ 2,440,114,695)	(△ 2,468,068,422)	(△ 2,502,996,438)	(△ 2,489,618,000)	(△ 2,492,845,397)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 2,220,024,911	△ 2,237,022,248	△ 2,239,473,240	△ 2,283,880,215	△ 2,228,047,198	△ 2,194,542,021
(H) 収益分配金	△ 11,013,716	△ 11,119,730	△ 11,120,966	△ 11,190,417	△ 11,070,809	△ 10,995,753
次期繰越損益金（G＋H）	△ 2,231,038,627	△ 2,248,141,978	△ 2,250,594,206	△ 2,295,070,632	△ 2,239,118,007	△ 2,205,537,774
追加信託差損益金	△ 1,204,495,831	△ 1,237,264,249	△ 1,264,867,134	△ 1,292,100,691	△ 1,291,550,783	△ 1,302,647,532
（配当等相当額）	(1,191,281,083)	(1,202,850,446)	(1,203,201,288)	(1,210,895,747)	(1,198,067,217)	(1,190,197,865)
（売買損益相当額）	(△ 2,395,776,914)	(△ 2,440,114,695)	(△ 2,468,068,422)	(△ 2,502,996,438)	(△ 2,489,618,000)	(△ 2,492,845,397)
分配準備積立金	2,166,836	4,093,462	5,362,192	6,880,873	7,444,853	10,207,478
繰越損益金	△ 1,028,709,632	△ 1,014,971,191	△ 991,089,264	△ 1,009,850,814	△ 955,012,077	△ 913,097,720

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,083,671円	13,070,412円	12,499,540円	12,778,651円	11,799,303円	13,966,789円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,191,281,083	1,202,850,446	1,203,201,288	1,210,895,747	1,198,067,217	1,190,197,865
(d) 分配準備積立金	1,096,881	2,142,780	3,983,618	5,292,639	6,716,359	7,236,442
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,204,461,635	1,218,063,638	1,219,684,446	1,228,967,037	1,216,582,879	1,211,401,096
(f) 分配金	11,013,716	11,119,730	11,120,966	11,190,417	11,070,809	10,995,753
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,193,447,919	1,206,943,908	1,208,563,480	1,217,776,620	1,205,512,070	1,200,405,343
(h) 受益権総口数	2,753,429,161口	2,779,932,582口	2,780,241,552口	2,797,604,352口	2,767,702,481口	2,748,938,300口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2020年12月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

純資産計算書
2019年9月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥	1,075,635,735
資産合計		<u>1,075,635,735</u>

負債

負債合計	¥	<u>—</u>
------	---	----------

資本（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産）	¥	<u>1,075,635,735</u>
--------------------------	---	----------------------

包括利益計算書

2019年9月30日に終了した年度

収益

手数料収入	¥	302,866,323
金融資産および負債に係る純実現損（損益通算後の評価額）		(5,579,384)
金融資産および負債に係る評価損の純変動（損益通算後の評価額）		(332,597,629)
収益（損失）合計		(35,310,690)

費用

報酬支払代行人手数料		4,602,568
費用合計		4,602,568

営業利益（損失）

(39,913,258)

包括利益（損失）合計

（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増（減））

¥ (39,913,258)

2019年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	U. S. 高配当株式クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	3,311,747,709 円
評価額	1,075,635,735 円
評価損	(2,236,111,974) 円

（注）担保付スワップへの投資を通じて、米国の高配当株式へ投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・ α クワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第65期の決算日（2020年12月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年6月18日～2020年12月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年12月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第12期（決算日 2020年12月9日）

（作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

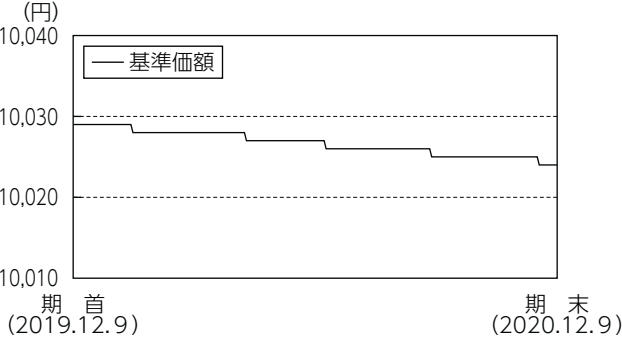
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
12月末	10,029	0.0	—
2020年1月末	10,028	△0.0	—
2月末	10,028	△0.0	—
3月末	10,028	△0.0	—
4月末	10,027	△0.0	—
5月末	10,027	△0.0	—
6月末	10,026	△0.0	—
7月末	10,026	△0.0	—
8月末	10,026	△0.0	—
9月末	10,025	△0.0	—
10月末	10,025	△0.0	—
11月末	10,024	△0.0	—
(期末)2020年12月9日	10,024	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,029円 期末：10,024円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	73,499,280	100.0
投資信託財産総額	73,499,280	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	73,499,280,005円
コール・ローン等	73,499,280,005
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A－B)	73,499,280,005
元本	73,320,433,569
次期繰越損益金	178,846,436
(D) 受益権総口数	73,320,433,569口
1万口当り基準価額(C／D)	10,024円

* 期首における元本額は38,285,006,118円、当作成期間中における追加設定元本額は92,065,519,457円、同解約元本額は57,030,092,006円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用）7,165,012,965円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）12,332,468,365円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、ダイワ・リートベア・ファンド（適格機関投資家専用）1,215,141,541円、ダイワ／パリュール・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス9,976円、通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、N Y ダウ・トリプル・レバレッジ209,466,367円、世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型）998円、世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型）998円、F A N G＋プルベア・マネーポートフォリオ992,420円、A H L ターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）6,417,784,873円、ダイワユーロベア・ファンド2（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）9,837,126,024円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）29,412,815,332円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）1,582,648,295円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド2,417,017円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワT O P I Xベア・ファンド（適格機関投資家専用）5,141,916,506円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ－U S トライアングル－997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド－予想分配金提示型－173,802円で

す。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,024円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 28,774,653円
受取利息	1,464,675
支払利息	△ 30,239,328
(B) その他費用	△ 1,598,733
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 30,373,386
(D) 前期繰越損益金	112,547,273
(E) 解約差損益金	△154,205,994
(F) 追加信託差損益金	250,878,543
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	178,846,436
次期繰越損益金(G)	178,846,436

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。